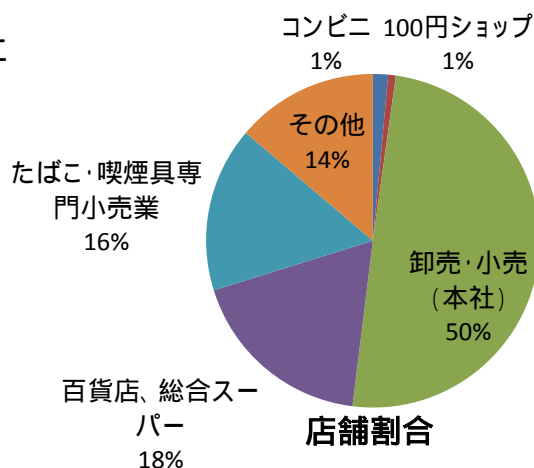


ライター流通実態調査(サンプル調査)

国内のライター流通実態を把握するため、ライターを取り扱っている約400店舗において、約4400万個(約750種類)をサンプリング
国内市場ではコンビニエンスストアや100円ショップで全体の約9割を取り扱っており、型式の判明分のうち大部分が使い捨てライター

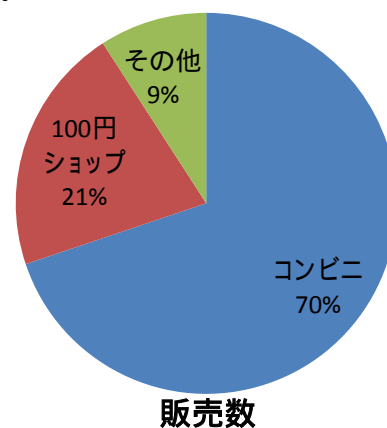
調査対象店舗

- 各都道府県ごとに規模の大きい店舗数社(計406店舗)を抽出
 - コンビニ:6店(1.5%)
 - 100円ショップ:3店(0.7%)
 - 卸売・小売(本社):202店(49.8%)
 - 百貨店、総合スーパー:74店(18.2%)
 - たばこ・喫煙具専門小売業:65店(16%)
 - その他:56店(13.8%)



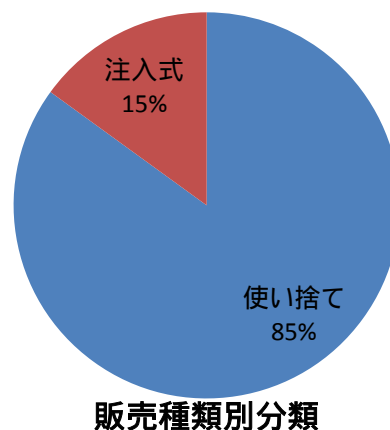
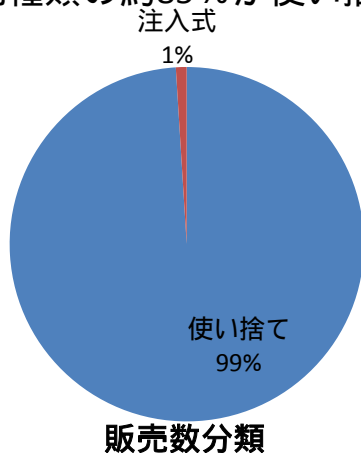
調査対象製品

- 対象店舗に年間取扱数等をヒアリングした結果約4400万個(約750種)をサンプリング
- 全販売数の内コンビニエンスストアで約7割、100円ショップで約2割を取り扱い
 - コンビニ:約3000万個(69.8%)
 - 100円ショップ:900万個(21.1%)



分類

- 各店舗に確認したところ、約4割(1600万)で型式が判明し、そのうち販売数の約99%、販売種類の約85%が使い捨てライター



ライター流通実態調査(アンケート調査)

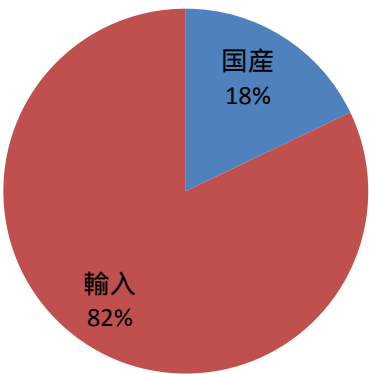
サンプリング調査で抽出された製品について、製造・輸入事業者から販売数や形状、製造国、注意喚起状況等をアンケート現時点で(社)日本喫煙具協会25社から回答(集計中)

ヒアリング対象

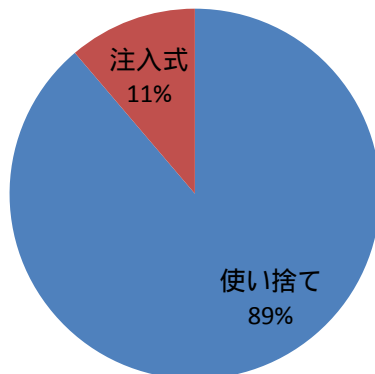
- サンプリング調査結果(約4400万個)等の製造・輸入事業者(139社)に対し、販売数・形状・製造国・注意喚起状況等をアンケート
 サンプリング調査関連79社(日本喫煙具協会27社、協会外52社)
 その他日本喫煙具協会60社

調査結果(集計中)

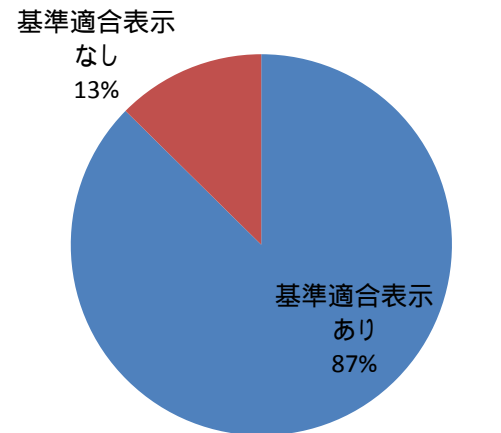
- 現時点(3月15日)で、25社から回答、約8割は輸入製品。また、使い捨てライターは約9割で、多数は電子式の着火方式。また、協会基準を満たす製品は約9割



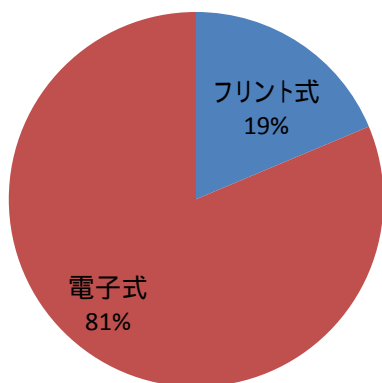
国産・輸入の割合



使い捨て・注入式



基準(JIS S 5010)適合表示



着火方式



フリント式・電子式



- (社)日本喫煙具協会が発行している、基準に適合していることを表示した「形式確認適合品ラベル」()

- 基準規格等に適合している旨の表示がないラベルの例

(社)日本喫煙具協会では、ISO 9994に準拠した「シガレットライター安全基準」を制定しており、この基準に基づいた安全上必要と考えられる項目全般に関する型式確認検査(炎の高さテスト、炎の消火テストなど)を実施し、合格したライターに対して「形式確認適合品ラベル」を発行